令和 8 年 4 月 23 日
共同生活援助　ピア・タウン

令和 7 年度　地域連携推進会議

日時　令和 8 年 4 月 22 日(水)　午前 10 時～
場所　共伸園　食堂
参加者　学識経験者　Y 様、民生委員 A 様、民生委員 S 様、保健センターH 様、利用者 K 様、利用者 C 様、利用者後見人 K 様(不参加)、相談支援専門員 O さん、法人理事 S さん、
管理者 C、職員 O、職員 K(書記)、職員 O さん(不参加)
内容　地域連携推進会議の開催について

次第
(1) 開会の言葉

(2) 管理者挨拶
地域連携推進会議の目的について
共同生活援助の運営に当たっては、地域と施設等が連携することにより、利用者と地域との関係づくりや、地域の方への施設等や利用者に関する理解の促進等を目的として、施設等の外部の方を構成員とした「地域連推進会議」を定期的に開催することが義務付けられています。当事業所も、地域の一員であることを意識しながら、地域の皆様と連携し合う関係を作ることが大切です。

(3) 参加者紹介

(4) ピア・タウン内容説明
運営状況
1) ピア・タウンの概要(ホームごと)
・利用者の状況(定員、利用料金等)
・利用者の生活について
・利用者の障害について
・組織体制
① 料金体制のご説明
② 利用者の状況(区分)のご説明
③ 利用者の 1 日の生活についてご説明
④ 組織体制についてご説明

2) 事業内容(サービスの透明性、質の確保、権利擁護)
・令和 7 年度事業実績
・令和 8 年度事業計画
・災害時の対応　BCP(業務継続計画)の策定状況について
・利用者の権利擁護
① 利用者の日中活動のご様子のご説明
② 部屋の掃除の声掛けや一緒に掃除を行う

③ 特性に応じて支援を行う
④ 医療、日中活動場と連携を行い、情報共有を行う
⑤ 事業所として BCP(事業継続計画)の見直し
⑥ 虐待防止、事故状況、ヒヤリハットの報告。件数 0 件

(5) あらまき、栄町、一の台見学

(6) 質疑応答
・入居者は、共伸園で仕事をしているのですか。
⇒19 人中、共伸園 6 名、他施設 9 名、一般就労 4 名。曜日を決めて併用されている利用者もいらっしゃいます。
・他施設、一般就労の利用者は何で通っているんですか。
⇒施設の車が迎えに来ます。一般就労の利用者は電車やバイク、車で通勤しています。
・学校だと教師 1 人に対して、生徒何人と決まっていますが、グループホームの定員は決まっていますか。
⇒共伸会は 1 ホーム 6 人、又は 7 人で県へ届け出をしております。
・世話人のご飯作りと利用者のお世話をするのは大変ではないですか。
⇒自立している方が多いので、主に声掛けをしたり、一緒に行っています。
・居室前の常備等は何ですか。
⇒地震、火災時に使用します。

(7)閉会の言葉